

バングラデシュの結核対策の発展－私の 40 年の関りから振り返る

The development of TB (Tuberculosis) control in Bangladesh :
Reflection from my collaborative experience during the past 40 years since 1978

石川信克先生 (Dr. Nobukatsu ISHIKAWA) は、1942 年群馬県生まれの医師。結核予防会結核研究所に入所後、78～86 年 JOCS(日本キリスト教海外医療協力会)の派遣ワーカーとしてバングラデシュに滞在し、現地 NGO の CHCP 及びバングラデシュ結核予防会に関わり、現地の保健医療協力活動に従事。帰国後、結核予防会結核研究所に復職し、国際協力部長、副所長を経て 06～18 年は結核研究所所長。現在は、同名誉所長、結核予防会代表理事を務め、バングラデシュなどの結核対策に関わり続ける。91 年～09 年は JOCS 理事。05 年大山健康財団賞、07 年保健文化賞を受賞。



本講演では、結核とはどんな病気か、なぜバングラデシュに結核が多いか、1970-80 年代の結核対策の問題点、90 年以降の結核対策の飛躍的発展、現在の結核状況と課題、協力隊を含めた日本政府の支援、石川先生の関りとメッセージ等についてお話しいたします。

日時：2020 年 4 月 7 日火曜日 18：30～20：30 April 7, 2020

場所：聖心女子大学四号館（聖心グローバルプラザ）二階 4-2 教室

Bldg. No.4, Univ. of the Sacred Heart, 4-2-24, Hiroo, Minato-Ku, Tokyo

150-8938 東京都渋谷区広尾 4-2-24（地下鉄広尾駅四番出口から歩き 2 分）

<https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/access/>

講演会参加費：個人（賛助）会員、法人（賛助）会員、学生会員は無料

（非会員の一般は 1,000 円、学生・院生と聖心女子大学の教職員は無料）

参加申込み（先着 60 名）：<https://forms.gle/6PoH9mg2dhGcksD57>

*参加を一旦申し込まれた後に、参加できなくなった場合は、4 月 3 日（金）までに、下記へ必ず連絡願います。TakaoKobayashi418@gmail.com



主催：一般社団法人日本バングラデシュ協会 The Japan-Bangladesh Society(JBS)

協力・後援：聖心女子大学グローバル共生研究所、公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS)、シャプラニール：市民による海外協力の会、国立国際医療研究センター(NCGM)